

伊丹ルーテル教会 聖霊降臨後第十二主日礼拝 2020年8月23日

前奏：

招きのことば：詩編 138:1-3、7-8

【ダビデの詩】わたしは心を尽くして感謝し神の御前でほめ歌をうたいます。
聖なる神殿に向かってひれ伏し あなたの慈しみとまことのゆえに 御名に感謝をささげます。
その御名のすべてにまさって あなたは仰せを大いなるものとされました。
呼び求めるわたしに答え あなたは魂に力を与え 解き放ってくださいました。
わたしが苦難の中を歩いているときにも 敵の怒りに遭っているときにも わたしに命を得させてください。御手を遣わし、右の御手でお救いください。
主はわたしのために すべてを成し遂げてくださいます。
主よ、あなたの慈しみが とこしえにありますように。御手の業をどうか放さないでください。

罪の悔い改めと赦しのことば：

会衆：私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。
思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に
罪人です。神様、本当にごめんなさい。私たちは祈ります。私たちを救うため あなた
がお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。
(短い黙祷を持ちましょう)

牧師：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・
キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ
務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言 します。父と、御子と、聖霊の
お名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。 **アーメン。**

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死して葬られ、
陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天に昇り、父なる全能の神の右に座したまえり。生
ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの
よみがえり、限りなきいのちを信ず。 アーメン。**

祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたはわたしたちにイエス様を救い主と信じる信仰を現わし、与えてくださいます。私たちはついイエス様から目がはなれ、この世のいろいろなことに目が移ってしまいます。でも、あなたは人々の考えではなく、あなたのみ言葉に根差す信仰を、私たちの内に日々新しく作ってください。あなたは私たちを愛し、イエス様によって罪を赦し、神の子として歩むいのちを与えてくださいます。今週も、おちついて、愛をもって、人々の役にたって歩む一週間としてください。今週も神様のみ言葉に導かれ、人々を大切にするすばらしい一週間にしてください。あらゆる危険やわざわいから私たちをお守りください。

新型コロナ・ウィルスの 2 次感染拡大の心配を持ちながら、私たちは慎重に新しい生活を立てあげようとしています。今朝もあなたのみ言葉によって私たちを教え、新しい命の息吹で力づけてください。今週も、私たちの遣わされている所で、御名のみ栄のために歩ませてください。この祈りを、私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン。**

使徒書朗読：ローマ 12 章 1-8 節

こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。わたしに与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分を過大に評価してはなりません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の度合いに応じて慎み深く評価すべきです。というのは、わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っている、すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数が多いが、キリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから、預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えに、勧める人は勧めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。

福音書朗読：マタイによる福音書 16 章 13-20 節

イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。すると、イエスはお答えになった

「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。

讃美歌 534 番

1. ほむべきかな、主のみめぐみ、今日まで旅路を 守りたまえり。
　　<繰り返し> よろずの民よ、たたえまつれ、「あがない主(ぬし)に み栄えあれ」と。
2. ほむべきかな、み名によりて うくれは物みな よからざるなし。 <繰り返し>
3. ほむべきかな、主の御名こそ いまわのときにも 慰めとなれ。 <繰り返し> アーメン

説教：「あなたはわたしを誰というか」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

マタイによる福音書から、イエス様がお弟子たちの信仰を鍛えておられることを読んでいます。先週は、イエス様がお弟子たちに立派な信仰をお見せになったところでした。悩みの日に主イエス様に助けを願い続けた異邦人の女性は、イエス様が自分たちのところに来てくださったこと、また、イエス様が自分たちのことを野犬や野良犬ではなく、家の中でかわいがられている子犬と言われたことを握って、自分の娘の病気が癒されるように願い続けたあの信仰です。これは4つの種のたとえに出てくるよい地の信仰です。道端のように、イエス様が来られても見過ごしにせず、岩地のように、イエス様を信じようと思ってもすぐに結果が伴わないとやめてしまうのでもなく、茨のように、イエス様を信じるよりも別のことに目が映ってしまうのでもない信仰の姿です。よい地は、イエス様の約束を信じきって、イエス様にだけより頼む信仰です。蒔かれた種である福音のみ言葉にいのちがあります。この人の心にまかれた福音が、そのいのちによって実を結んでいったのでした。

さて、イエス様がお弟子たちの信仰を養う、決定的な出来事がありました。今日読まれたみ言葉は、イエス様がお弟子たちをピリポ・カイザリヤという特別な場所へ連れていかれ、そこでいくつかの質問をされました。そこでお弟子の中のペテロがイエス様こそ生ける神の子、キリストです、と信仰の告白をしました。イエス様はその信仰の告白を頑丈な岩と呼ばれ、その上にご自分の教会をお建てになると示され、これからご自分の身におこることを話し始められました。

イエス様が弟子たちをお連れになったのはガリラヤ湖から北へ 40 kmほどにある異邦人の町、ピリポ・カイザリヤというところですよ。イエス様の歩まれたところを地図で見えますと、このピリポ・カイザリヤが最も北に位置します。ここまで北上してこられたイエス様はこの出来事のあと、イエス様は 180 度方向転換して、一路南下して、エルサレムを見つめて歩まれます。そこでイエス様は十字架につけられ、そしてよみがえられます。ピリポ・カイザリヤでのお弟子たちの信仰告白がエルサレムに向かうイエス様の起点となりました。

ピリポ・カイザリヤはカイザーであるローマ皇帝からヘロデ大王がもらった町で、息子のピリポが受け継いでいました。町の人々はローマの皇帝を礼拝し、また、ギリシャ神話の神さまを祭っていたと思われます。そのようなエルサレムから離れた異教の地で、イスラエルの人々の目の届かないところで、イエス様はお弟子たちに尋ねました。自由に言ってください、人々は人の子のことを誰と言っていますか。人の子とはダニエル書 7 章 13 節に出てくるような世の終わりにあらわれる救い主のことです。弟子たちはイエス様がご自分のことをおっしゃっているのを察知して、人々はあなたのことをバプテスマのヨハネ、エリヤ、エレミヤ、預言者の一人だ、と言っています、と答えました。それをお聞きになったイエス様は、最も大切な質問をされました。「ではあなたがたはわたしを誰というのか。」

この問いに、シモン・ペテロは「あなたはメシア、生ける神の子です。」とこたえました。イスラエルの人々のようではなく、ピリポ・カイザリヤの人々のようではなく、イエス様がだれかを知っていました。5000 人の人々を 5 つのパンと 2 匹の魚でおなかいっぱいにした方、苦しんでいたときに湖の上を歩いて助けに来てくださった方です。嵐を沈められたとき、弟子たちは、本当にあなたは神の子です、とイエス様を拝みました。あなたはメシア、つまり救い主です、いろんな神様と呼ばれているなんの力もない方ではなく、生きて働いておられる神様の御子です、とこたえました。

私たちはいわゆるクリスチャンの国に住んでいません。日本の人々はイエス様のことをあまりよく知っていません。そのような人々の間に私たちは置かれています。人々はイエス様のことを誰と言っていますか、人々は最後に自分たちを助けてくれるのは誰だと言っていますか、というイエス様の質問に日本ではイエス様のことを罪を赦して神の子にしてくださいまことの救い主です、と答える人は少ないでしょう。イエス様を救い主として信じる人が少ない中で、イエス様はあなたにも今日、あなたはわたしを誰というか、とお尋ねになります。

ここで注目したいのは、よい信仰告白をしたペテロにイエス様がおっしゃったことばです。シモン・バルヨナ、と本名で呼びかけられ、あなたは幸いだ、と言われました。そして、あなたにこのことを現したのは人間ではなく、わたしの天の父だ、と言われました。イエス様を、罪を赦して新しい命をくださるほんとうの救い主です、という信仰告白は、たしかにわたしの心

にある信仰をわたしの口で告白する信仰告白ですが、それは父なる神様が現わしてくださった信仰告白です、とイエス様はおっしゃいます。

異教のまちで、イエス様に目を見つめられて、あなたにとってわたしは何者ですか、と問われます。ペテロは湖の上を歩いたとき、イエス様を見つめていた目をそらして風を見てしまい、沈みそうになりました。イエス様から目をそらして、周りにいる多くの人の中でこんなことを告白するとこれから困るだろうなあ、とか、変わり者に思われるだろうなあ、と風を見てしまうと沈みます。わかっているけど周りの目は気になります。そのときイエス様は言われます。あなたの信仰告白は、父なる神様が現わしてくださった贈り物です。私たちはいろんな取り越し苦労をします。しかし、父なる神様は私たちに心から、イエス様はたしかにわたしの救い主です、と信仰を告白させてくださる方です。

信仰は、そこに信頼できる何かがあるはずだと思い込むように自分に言い聞かせるものではありません。また人々がそういうから、同調してきつとそうなのだ、と口裏をあわせるものでもありません。父なる神様は、今日もみ言葉を聞くことができるように私たちをここへ招いてくださって、あなたがみ言葉を聞くとときあなたにイエス様を生ける神の子、救い主です、と告白する信仰を作り出してください。

ペテロは続いてイエス様にこういわれました。あなたはペテロです、この岩の上にわたしの教会をたてます、陰府のちからもこれに対抗できません。イエス様は父なる神様が現わしてくださる信仰告白の上にわたしはわたしの教会をたてる、とされています。また、イエス様は十字架の死によって私たちの罪を赦して永遠の滅びから救い出し、復活して新しい神の子とされるいのちを与えてくださるのですから、私たちを脅かす最も恐ろしい最後の敵である死の恐れを乗り越えることができるのです。異教の地にあって、父なる神様は私たちにまことの信仰告白を現わしてくださり、イエス様がその信仰告白の上に自分の教会をお建てになり、また支えてくださいます。これほどの喜びと安心はあるでしょうか。

イエス様を誰というか、というこたえの中に、罪の赦しと永遠のいのちがあります。天国の鍵はこの信仰告白にあります。教会のメッセージの中心はいつも信仰告白に向けられています。今日も私たちは、イエス様を罪からの救い主と信じる信仰が与えられていることを感謝しましょう。

さて、イエス様は 20 節で、ご自分がメシアであることを誰にも言わないで、と命じられました。せっかくの信仰告白を人に伝えないように、ということでした。イエス様はよみがえられた後、おなじ弟子たちを呼び集めて、行ってすべての民をわたしの弟子とみなさい、と遣わされました。このときはなぜ伝えないように言われたのでしょうか。

イスラエルの指導者たちは自分たちこそ神様に仕えているのだ、と思っていましたから、イエス様が神の子だと言っていることを聞くと、神を冒瀆する者として殺してしまうでしょう。民は、イエス様を王としたいと思っていたのですから、この世でローマの支配から解放して自分たちの王国を樹立してくださる期待を裏切られた、と思って愛想をつかすでしょう。

結局は、人々から捨てられ、指導者たちから十字架にかけられて、イエス様は死んでくださいます。お弟子たちの準備をしながら、その救いのみわざが進んでいくように、そのときは信仰告白を人々の前ではしないようにと命じられたのです。

私たちはイエス様が私の救い主であることを感謝します。そしてそのように生きていきます。イエス様をみあげながら、もくもくと与えられたところで、神様と人々にお仕えする幸いを味わっていきます。私たちの大切な人に、イエス様はイエス様のときに、私たちの信仰告白を顕わにするときを示してください。イエス様にある安心や幸いを精いっぱいお伝えしましょう。その方々に信仰を与えてくださるのは天の父なる神様なのですから、力まないで、でも確信をもって祈りつつ信仰のすばらしさをお分かちしましょう。あなたの心にも喜びが訪れます。

イエス様はお弟子たちの信仰を育ててくださいました。いや、お弟子たちにイエス様を救い主だと信じる信仰を与えてくださるのは神様だということをお分かちしてくださいました。そして、その信仰をイエス様のときに人々に分かち合うことができるように、導いてくださいます。

わたしたちも今週、いろいろな方に出会い、いろいろなことがあり、いろいろな思いになります。その中で、眼をイエス様に据えて、あなたこそ私の罪を赦し、あたらしい命を与えてくださる救い主です、と告白して歩いていきましょう。イエス様は、あなたに力と愛と慎みを与えてくださいます。

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と意思を守ってください。アーメン。

讃美歌 267 番 献金 献金感謝の祈り

- 1 神はわがやぐら、わが強き盾、苦しめるときの、近き助けぞ。
おのが力 おのが知恵(ちえ)を頼みとせる 陰府(よみ)の長(おさ)も など恐るべき。
- 2 **いかに強くとも いかに頼まん、やがては朽つべき 人のちからを。**
われと共に 戦いたもう イエス君こそ 万軍の主なる あまつ大神(おおかみ)。
- 3 悪魔 世に 満ちて よしおどすとも、神の真理(まこと)こそ わが内にあれ。
陰府(よみ)の長(おさ)よ ほえ猛りて 迫り来とも、主の裁きは 汝(な)が上にあり。

4 暗きのちからの よし防ぐとも、主のみことばこそ 進みにすすめ。

わが命も わが宝も とらばとりね、神のくには なお我にあり。 アーメン

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。

みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。

われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 **アーメン**

頌栄：讃美歌 541 番

父、御子、御霊の 大御神(おおみかみ)に ときわにたえせず み栄えあれ み栄えあれ。

アーメン

祝福の言葉

仰ぎこいねがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき

お交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、

豊かにありますように。 **アーメン**

後奏